

重点項目(3か年計画)

- 1 利用者サービスの向上
- 2 地域支援の定着
- 3 職員力の強化
- 4 組織力の強化
- 5 財務状況の健全化

1 利用者サービスの向上

- ①通所介護サービス向上のため、入浴待機者ゼロを目指す。
- ②ICT技術を用い科学的介護を意識したプログラムの実施。
- ③新型コロナウイルス感染症感染症の感染予防を優先しつつ、快い生活支援を実施する。
- ④コロナ禍でのボランティアの活用を検討する。
- ⑤地域向け勉強会の開催。
- ⑥SNS、HPの利用した積極的な情報発信。

2 地域支援の定着 第三期指定管理(2019年度～2028年度)の遂行

- ①地域における高齢者支援拠点の役割を担う。
- ②岩本町ほほえみプラザを介護予防の拠点とする(8事業9教室の実施)。
- ③コロナ禍での食事サービス事業についての検討を行う(訪食・配食、会食会など)。
- ④指定管理提案事業である子育て支援事業について、千代田区との協議を再開。
- ⑤東京都住宅供給公社と連携し、施設メンテナンス計画を検討する。

⑥区民施設等運営管理業務の遂行

- 1) 多目的ホール・今川記念室利用管理
- 2) 建物・設備維持管理
- 3) 駐車場運営管理

3 職員力の強化

- ①ケアカルテ導入を契機とした業務分析および改善(非接触型測定機器の活用)
- ②ケアカルテと他機器連動によるサービスの向上(ICT技術の活用)
- ③職員個々のスキルアップのための施設内研修の充実

4 組織力の強化

- ①研修を通しての理解・日常業務への反映を行う。
- ②心身の健康管理を推進し、職員相互が支えあい・助け合う職場にする。
- ③委員会活動(各委員会が互いに協力し合う体系とする)
 - 1) 災害対策会議 — 防災・防犯意識の向上を図り毎月の訓練を通じて、あらゆる災害(自然災害等)や防犯に対処できる職員を育てていく。
 - 2) 労働安全衛生委員会 — 職員および利用者の安全・安心な環境を整備する。
 - 3) 感染症対策委員会 — 利用者および職員の感染予防および意識向上を図る。(偶数月に開催)
 - 4) 研修委員会 — 介護技術・知識・会話技術等の専門性の向上に努める。
 - 5) 事故防止検討委員会 — 意識の向上を図り、再発防止、事故削減に取り組む。
 - 6) 身体的拘束等適正化委員会 — 身体拘束等の適正化のための対策を検討する。(3か月に1回開催)
 - 7) 虐待防止委員会 — 権利擁護、虐待防止等のため、対策を検討する。(隔月に開催)
 - 8) 岩本町ほほえみプラザサポート隊運営委員会 — ボランティアの受入をし生活の質の向上をはかる。

5 財務状況の健全化

- ①各事業、予算策定稼働率達成。

通所介護	70%	認知通所	41%	短期入所	80%
グループホーム	95%	ケアハウス	87%		
- ②新たな加算を取得する。その結果、利用者のサービス向上につなげる。